

ハローワーク宇部 就職支援業務報告（令和3年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

新型コロナウイルス感染症の影響により、雇用保険受給者の失業期間も長期化する傾向があり、「雇用保険受給者の早期再就職件数」が重点課題であると考え、初回認定日の相談時間を充分確保するため、2回目以降と別に時間設定することで職業相談の充実を図りました。さらに早期再就職を希望している者に対し、求職者担当制による求人情報の提供、応募書類の作成指導及び面接対策等を行いました。また、大規模な面接会が開催できない状況でしたが、求職者に企業の生の声が聞ける会社説明会の実施やハローワークから距離のある地域では、出張による相談やミニ面接会を毎月開催することで、ミスマッチの解消に努めました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

キャリアコンサルティング資格取得の意識の高い若手職員を中心に、資格取得に向けた職場の応援体制が図られるよう所長自ら該当部門への呼びかけを行い、労働局が主催する資格取得に向けた研修会に職員を参加させました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

就職氷河期支援対象者のうち、希望職種が未定の者が4割を占めていることから、職業興味検査を活用したセミナーを定期的で開催しました。支援対象者の特性を考慮した少人数制で行い、参加しやすい雰囲気づくりにも配慮しました。検査結果の伝達は、次回来所日を指定し継続した支援につなげています。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

ハローワークインターネットサービスの存在を知らないなど求人情報収集の手段の不足、また、ハローワークインターネットサービスの求人検索機能を十分に活用できていないなど、求人情報の収集・検索に課題がある求職者が多いと感じています。

ハローワークインターネットサービスの周知に始まり、ハローワークインターネットサービスの適切な求人検索方法、更には求職者マイページ開設を通じて情報収集の効率化を図れることを周知していく必要があります。

そのため、相談窓口以外においても、初回講習、所内のデジタルサイネージやホームページなどを活用して、ハローワークインターネットサービスの効果的な検索方法や求職者マイページの開設の手順をわかりやすく説明するなど、早期再就職の促進に努めます。

（4）その他業務運営についての分析等

当所管内では60歳以上の求職者が増加しており、高年齢求職者を対象とした生涯現役窓口におけるシニア世代に対する就職支援に取り組む必要があります。高年齢者に対する職業生活設計に係る相談、未経験の職種に就く不安を取り除くためのセミナーや面接会等の就職支援を実施していきます。

2 特記事項

無し

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	HWの紹介により、 正社員に結びつい た就職氷河期世代 の不安定就労者・ 無業者の件数	正社員求人数	正社員就職件数	マザーズHW事業 における担当者制 による就職支援を 受けた重点支援対 象者の就職率	生涯現役支援窓口 での65歳以上の 就職件数
令和3年度実績	3,100	2,879	929	88.3%	223	11,915	1,713	96%	91
過去3年度平均	3,457	3,226	1,171	95.0%	216	12,056	1,855	95%	91
R2年度実績	3,034	2,944	1,089	90.5%	216	11,684	1,655	94%	84
対R2比	102%	97%	85%	97%	103%	101%	103%	102%	108%
R1年度実績	3,571	3,270	1,227	94.3%	-	12,331	1,911	95%	98
対R1比	86%	88%	75%	93%	-	96%	89%	101%	92%
H30年度実績	3,767	3,464	1,197	98.9%	-	12,154	1,999	98%	-
対H30比	82%	83%	77%	89%	-	98%	85%	98%	-

※ 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の)紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の)紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。